群馬の畜産 みんなの情報室

第321号

発行日
平成26年7月31日

発行:公益社団法人　群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310　群馬県JAビル　6階／TEL:027-220-2371(代)　FAX:027-220-2372
ホームページ:http://www.chikusankyokai.or.jp

会長就任挨拶

公益社団法人群馬県畜産協会　会長　大澤憲一

平成 26 年 6 月 26 日に開催された第 71 回定時総会及び総会後の理事会において会長に選定されました。

畜産を取り巻く環境の厳しさがいよいよ増す中にあって、経営支援のための各種事業を行う本会の役割は一層重要となっており、その舵取りは、会員の皆様のご協力、生産者の方々のご支持、ご理解のもと、積極的かつ効果的に行わなければならないものと、強く認識しているところです。

本会の行う事業は主に、価格差補てん等により経営の安定を支援する事業、経営技術の高度化や生産技術の効率化等により経営の向上を支援する事業、地域の畜産の振興を支援する事業の三つに分けることができますが、畜産経営の抱える課題が多岐に亘る今日、本会の持つ多角的な機能をバランスよく配して、総合的な畜産支援の力を発揮する必要があります。そのためには、本会自身の能力、技術の向上を図ることはもちろん、群馬県をはじめ関係する機関、団体の皆様との連携をさらに強化しなければなりません。

畜産協会は昭和31年1月に社団法人として設立され、その後三つの畜産団体との統合、１つの団体からの事業承継を経て、平成 24 年 4 月からは新しい制度の下で公益社団法人として活動して参りました。その歴史に裏打ちされた知識、経験を背景に、一層の技術、技能の研鑽に努め、役職員一同、力を合わせて諸課題に取り組む所存です。「畜産経営の安定向上と安全で良質な畜産物の生産に貢献することにより、国民生活に不可欠な食料の安定的な供給に寄与する」本会の目的を実現するため、今後ともご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

■第７１回定時総会が開催されました。

平成26年6月26日（木）群馬県JAビルにおいて、本会の第71回の定時総会が開催されました。

総会では、会員各位のご出席のもと、次の報告事項、議案が報告、協議され、すべての議案が原案どおり可決決定されました。

（報告事項）　平成25年度事業報告

（決議事項）

第1号議案	平成25年度貸借対照表、正味財産増減計算書承認の件
第2号議案	定款変更の件
第3号議案	平成26年度役員報酬の件
第4号議案	役員退任慰労金の件
第5号議案	平成26年度会費並びに納入時期の件
第6号議案	理事及び監事の任期満了に伴う選任の件

目　次

◎会長就任挨拶…………………………………… 1
◎第71回定時総会の開催………………………… 1
◎公益社団法人群馬県畜産協会　新役員体制…… 2
◎平成26年度事業計画…………………………… 2
◎全日本ホルスタイン共進会が開催決定………… 5
◎全日本ホルスタイン共進会が開催決定………… 6
◎今年度の前期牛群審査・体型調査を実施……… 6
◎家畜審査技術講習会・技術大会の開催………… 6
◎価格安定支援、各事業の実績…………………… 6
◎家畜衛生事業担当者会議の開催………………… 8

公益社団法人群馬県畜産協会　新役員体制

平成26年6月26日（木）に開催された定時総会および理事会において、新役員が選定選任されました。

畜産を取りまく情勢はますます厳しいものがありますが、新役員体制のもと、今後とも群馬の畜産の振興に向け、各種の課題に積極的に取り組んでいく所存ですので、引き続き本会業務へのご理解ご協力のほどをよろしくお願い致します。

公益社団法人群馬県畜産協会　役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
会　長（代表理事）	大澤　憲一	理　事	新井　利明
副会長	児島　秀行	理　事	貫井　孝道
副会長	野呂　明弘	理　事	岡部　康之
理　事	亀井　勝男	理　事	高井　英郎
理　事	品川　文隆	理　事	清水　国久
理　事	齋藤　隆雄	理　事（業務執行理事）	塩原　広之
理　事	小林　一夫	監　事	唐澤　透
理　事	松本　尚武	監　事	鳥山　晃
理　事	小林　一太	監　事	大久保　克美
理　事	橋場　正和		

平成２６年度事業計画

1. 基本方針

昨年の畜産を取り巻く情勢は、まだまだ厳しい状況となっております。更に、TPP交渉の動向では、今後の畜産業の存亡にかかわる問題も数多く指摘されております。

平成26年度に於いては、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえ、元気のある畜産を確立するため、畜産経営者、関係機関、団体との連携を密に取りながら国、県、中央団体等からの補助事業、助成事業、委託事業を実施するとともに、各種ニーズに応えられる自主事業にも積極的に取り組むこととしています。また、事業を効果的、効率的に実施する一方、引き続き事務の合理化や経費の抑制、事務局体制の再構築にも取り組みます。

なお、本計画にない新規取り組みについては、本会の事業目的に合致するものや、社会的情勢の変化などにより喫緊の対応が求められる場合には、事業計画に支障のない範囲において、取り組むこととします。

2. 事業計画

1）実施事業の内容

【公益事業1】畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

（1）畜産経営の安定を支援する事業

ア　肉用子牛の生産の安定に関する支援

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、自己資金、この事業のために事業参加者、群馬県、独立行政法人農畜産業振興機構で積み立てた基金を財源として、その差額を補てん金として交付する。

（実施予定事業）肉用子牛生産者補給金制度事業ほか3事業

	事業名	種別	事業内容
1	肉用子牛生産者補給金制度	補助	保証基準価格を下回った四半期に販売又は自家保留された肉用子牛に生産者補給金を交付。さらに、平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合に下回った額の9/10を補給金として交付。
2	肉用子牛生産者補給金制度指定協会運営体制支援事業	補助	肉用子牛生産者補給金制度の運営体制を維持するために必要な事務を実施。
3	肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業	補助	肉用子牛生産者補給金制度の運営を実施。
4	肉用牛繁殖経営支援事業	補助	肉用子牛平均売買価格が発動基準を下回った場合に、下回った額の3/4を支援金として交付。

イ　肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の再生産を保証し、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、事業参加者に対し、肥育牛販売価格と肥育牛1頭当たり生産費との差額の8割を、自己資金、この事業のために事業参加

て者、群馬県、独立行政法人農畜産業振興機構で積み立た基金を財源とし、補てん金として交付する。

（実施予定事業）肉用牛肥育経営安定特別対策事業ほか2事業

	事業名	種別	事業内容
1	肉用牛肥育経営安定特別対策事業	補助	肉用肥育牛経営の粗収益が生産コストを下回った場合に、積立により造成した生産者積立金から、その差額の8割を補填金して交付。
2	畜産物価格安定推進事業	補助	肉用牛肥育経営安定特別対策事業の生産者積立金の一部を補助。
3	肉用牛肥育経営安定推進支援事業	自主	肉用牛肥育経営安定特別対策事業に関連した事務を実施。

ウ　養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の再生産を保証し、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、事業参加者に対し、豚枝肉販売価格が保証基準価格を下回った場合に、自己資金、事業参加者、独立行政法人農畜産業振興機構で積み立てた基金を財源として、その差額の8割を補てん金として交付する事業について、参加に必要な手続き、事業の実施方法等に関する指導等を、独立行政法人農畜産業振興機構からの受託金により実施する。

（実施予定事業）養豚経営安定対策事業

	事業名	種別	事業内容
1	養豚経営安定対策事業	受託	粗収益が生産コストを下回った場合に生産者と農畜産業振興事業による積立金から差額の8割を補てん金として交付する事業の周知、指導、事務等を実施。

（2）畜産経営の向上を支援する事業

ア　地域の畜産経営への支援指導

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行う。また、既往負債の借り換え計画作成とその計画達成指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営計画等の作成、生産物の品質向上等の指導、畜産経営者の経営実績の収集等を行う。なおこれらの事業は、自己資金、独立行政法人農畜産業振興機構、群馬県、地方競馬全国協会及び畜産団体からの補助金、受託金等を財源として実施する。

（実施予定事業）地域畜産支援指導等体制強化事業ほか9事業

	事業名	種別	事業内容
1	地域畜産支援指導等体制強化事業	補助	畜産経営の高度化に必要な情報の提供や多様なニーズに対応した経営指導、一般消費者への畜産への理解醸成のための活動を行うほか、馬事の振興等の畜産業を振興するための活動を実施。
2	畜産経営流通対策事業（経営指導推進）	補助	畜産農家に対する経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成指導、大家畜経営データベース等の情報化技術の活用、畜産経営の高度化に必要な情報の提供等による経営支援を実施。
3	畜産特別資金等推進指導事業	補助	畜産特別資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導、並びに新規借受者の経営改善計画の作成指導を実施。
4	貸付事業指導等事業	受託	畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等について保守管理及び適正な使用に関する指導を実施。
5	乳用種初生牛生産費調査	受託	酪農生産現場から生産されるヌレ子の生産費用等基礎データの庭先調査を実施。
6	大家畜DB活用推進事業	自主	酪農及び肉用牛経営データベースを活用し、経営改善に有用な情報を提供。
7	畜産環境保全支援事業	自主	補助事業等により設置した家畜排せつ物処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施。
8	畜産協会情報提供事業	自主	畜産農家に有用な情報等を収集し、情報誌として生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページ・メールマガジン・フェイスブック等を活用し広く情報提供。
9	公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）	受託	日本政策金融公庫資金の借入に際して必要な調査、経営計画の見直し指導等を実施。
10	豚枝肉格付分析情報提供事業	自主	豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供。

イ　畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している酪農ヘルパー要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部補助を実施する。また、経営の第三者継承への支援、雇用を必要としている畜産経営に人材確保のための職業紹介等の支援を実施する。さらに、獣医大学生に対し、修学のための資金を共同負担者分と合わせて貸与する。これらの事業は、自己資金、生産者の積立金、農林水産省及び独立行政法人農畜産業振興機構の補助、畜産団体からの受託金等を財源として実施する。

（実施予定事業）酪農経営安定化支援ヘルパー事業ほか6事業

	事業名	種別	事業内容
1	酪農経営安定化支援ヘルパー事業	補助	酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料、酪農ヘルパー業務において生じた財物損害保険料及び臨時ヘルパーの傷害保険保険料の一部を補助。
2	酪農ヘルパー事業円滑化支援事業	特別	酪農ヘルパー利用組合の運営、要員確保・育成等に必要な経費を補助。
3	酪農経営安定支援ヘルパー事業業務委託事業	受託	酪農ヘルパー利用組合の運営体制、加入農家等の利用実績管理状況及び加入農家等の利用実態等の調査を実施。
4	酪農ヘルパー傷病時等互助事業	補助	酪農従事者の病気等により増加した酪農ヘルパー利用料の負担を軽減するための互助基金に対する補助。
5	酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費	自主	酪農ヘルパー互助金の交付事務等を実施
6	獣医師養成確保修学資金貸与事業	補助	群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に共同負担者分と併せて修学資金を貸与。
7	畜産人材確保育成事業	自主	畜産農家の雇用、新規参入、継承の促進のための相談活動を実施。

(3)家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

ア　畜産及び畜産物への理解醸成

畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、イベントにおける畜産物啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の啓発資料の作成・配布及び無償配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行う。また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図る。これらの事業は、自己資金、群馬県、地方競馬全国協会及び畜産団体からの補助金、受託金等を財源として実施する。

(実施予定事業)生産振興対策事業(養鶏振興推進対策)ほか4事業

	事業名	種別	事業内容
1	生産振興対策事業(養鶏振興推進対策)	補助	鶏卵の栄養や安全性についての知識を消費者に広く普及し、県産鶏卵の消費拡大を図るための活動を実施。
2	牧場宿泊体験交流事業	自主	酪農場に宿泊し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験交流を実施。
3	群馬の堆肥普及事業	自主	一般消費者を対象に、畜産堆肥の有用性に関する啓発資料の配布及び堆肥の無償配布を実施。
4	畜産普及啓発推進事業	自主	一般消費者を対象に、畜産への理解を深めるための資料の配布や畜産物の無償配布等を行う。
5	地方競馬支援対策事業	自主	地方競馬の振興を図るため、競馬場において冠レースを実施する。

イ　家畜及び畜産物の安全性確保

伝達性牛海綿状脳症(BSE)に罹患した牛を確実に食肉流通から隔離し、安全な牛肉の生産体制を確立することを目的に、死亡した牛の収集、輸送、検査、処理に必要な費用への補助、食肉処理場における特定危険部位の除去確認に要する費用への補助に関する事務を自己資金、畜産団体、農林水産省からの補助金、受託金を財源として実施する。

(実施予定事業)死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業ほか1事業

	事業名	種別	事業内容
1	死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業	補助	死亡牛のBSE検査に要する運賃、検査料を補助。
2	牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務	受託	特定危険部位である牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を実施。

ウ　家畜の悪性疾病による損失対策

重要で悪性の家畜伝染病など、事業で指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚の淘汰に伴う損失を補償して生産の継続を図ることを目的に、事業参加者が互助補償する全国的な事業の内容の周知、参加の呼びかけ、参加手続等を、自己資金及び独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金を財源として実施する。

(実施予定事業)家畜防疫互助基金支援事業

	事業名	種別	事業内容
1	家畜防疫互助基金支援事業	補助	海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施。

エ　農場の生産衛生の強化

家畜の疾病のうち、特に清浄化が難しく伝播力が強いため個別経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい豚の伝染性疾病や、死流産を起こす牛の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、予防接種、抗体検査等、生産衛生の強化に必要な費用の一部を事業参加者に補助するとともに、事業参加者、獣医師、関係団体、行政等からなる対策協議会の開催、清浄化推進データの蓄積及び広報等を、自己資金、農林水産省、群馬県、独立行政法人農畜産業振興機構及び畜産団体からの補助金、受託金等を財源として実施する。

(実施予定事業)家畜衛生対策事業ほか4事業

	事業名	種別	事業内容
1	家畜衛生対策事業	補助	地域ぐるみで豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を奨励するため補助金を交付。
2	家畜生産農場清浄化支援対策事業	補助	豚オーエスキー病のワクチン接種、牛の吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止に必要な費用の一部を補助。
3	豚オーエスキー病清浄化推進事業	受託	オーエスキー病対策協議会、検討会の開催、清浄化推進データの蓄積、広報等を実施。
4	地域自主防疫活動強化緊急対策事業	受託	地域における自主防疫活動の普及啓発を実施。
5	オーエスキー病抗体検査促進事業	自主	豚オーエスキー病ウイルスの抗体保有検査に必要な経費を補助。

オ　家畜の衛生管理の強化

疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、当協会によるワクチンの購入及び当協会指定獣医師による接種の推進、予防注射頭数の増加のための普及啓発活動、家畜衛生関係事業の目的の早期達成を図るために必要なデータベースの作成及び維持管理、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査、ハチミツの安全性確保のための検査を促進するための補助等を、自己資金、群馬県及び畜産団体からの補助金、受託金等を財源として実施する。

(実施予定事業)予防注射推進強化対策事業ほか4事業

	事業名	種別	事業内容
1	予防注射推進強化対策事業	助成	家畜防疫の徹底を図るための資料等を作成・配付。
2	農場HACCP認証普及推進支援対策事業	補助	農場HACCP認証の普及を図るための調査、指導を実施。
3	馬飼養衛生管理特別対策事業	受託	競走馬以外の馬の飼養衛生管理等についてアンケート調査、講習会を実施
4	家畜衛生推進事業	自主	予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施。
5	生産振興対策事業(優良はちみつ生産)	補助	ハチミツの品質検査に必要な経費の一部を補助。

(4)家畜の能力向上を促進する事業

家畜の遺伝的な能力と大きな関連がある体型等を中心とした評価に技術と経験を持った職員を配置し、県域を対

象とした家畜共進会の開催及び地域における家畜共進会の開催支援、能力の高い種畜の導入に対する補助、能力向上に必要な家畜の体型や産肉能力データの収集等の事業を、自己資金、群馬県、独立行政法人農畜産業振興機構、農林水産省及び畜産団体からの補助金、受託金等を財源として実施する。

（実施予定事業）和牛全共出品対策事業ほか10事業

	事業名	種別	事業内容
1	和牛全共出品対策事業	特別	第11回全国和牛能力共進会の出品対策のための調査、指導を実施。
2	SNP活用効率的肉用牛生産技術開発事業	受託	SNPによる遺伝的評価手法を開発するために必要な検査材料の収集等を実施。
3	肉用牛産肉能力平準化促進事業	自主	肉用牛の調整交配及びその結果の調査とりまとめを実施。
4	家畜共進会運営強化推進事業	自主	地域で行う家畜共進会の実施に必要な費用の一部助成。
5	和牛個体育種価情報提供サービス事業	自主	父牛及び母牛の育種価から推定される生産子牛の期待育種価をインターネット上で提供。
6	生産振興対策事業（家畜登録促進）	補助	家畜の血統整理や登録・登記を推進。
7	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）	補助	各家畜ごとに群馬県畜産共進会を開催。また、関東ホルスタイン共進会及び全日本ホルスタイン共進会への出品対策を実施。
8	生産振興対策事業（優良繁殖雌牛増頭）	補助	育種価の普及推進のための研修会を開催。また、要件を満たす繁殖雌牛を肉用牛生産者集団等が導入した場合に、その経費の一部を補助。
9	生産振興対策事業（高能力種豚安定供給体制確立）	補助	養豚農場の衛生管理状況および種豚生産利用調査を実施。また、優良種豚の導入経費の一部を補助。
10	家畜改良推進事業	補助	生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データの収集を実施。
11	肉用牛経営安定対策補完事業	補助	要件を満たす繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じて奨励金を交付。また、簡易牛舎の整備、施設の改造、器具機材の導入を補助。

【収益事業１】畜産に関する収益事業

（1）家畜登録団体からの業務受託に関する事業

乳牛、和牛、豚、山羊の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し、畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の業務を行う。

（実施予定事業）家畜登録事業（4畜種）ほか1事業

	事業名	種別	事業内容
1	家畜登録事業	自主	登録申し込みのあった家畜（乳牛、肉牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の事務を実施。
2	家畜登録円滑化事業	自主	家畜の登録を円滑に進めるために必要な活動を実施。

（2）畜産生産者からの事務受託等に関する事業

畜産生産者が委託を受けて、補助事業等を実施するのに必要な書類の作成、事業に関連する証拠書類の収集等の一連の事務を行う。

（実施予定事業）養豚経営安定対策推進事業

	事業名	種別	事業内容
1	養豚経営安定対策推進事業	自主	養豚経営安定対策事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の申請等事務を事業参加者から受託して実施。

（3）畜産団体からの事務受託等に関する事業

畜産生産者等を構成員とする団体から、団体の事務等を委託されて実施する事業。

（実施予定事業）団体事務受託8事業

	事業名	種別	事業内容
1	団体事務受託事業	自主	群馬県乳牛改良協会、群馬県和牛改良組合連絡協議会、群馬県養豚協会、群馬県養鶏協会、群馬県種鶏ふ卵協会、群馬県養蜂協会、群馬県家畜人工授精師協会、群馬県畜産技術連盟

【その他事業１】畜産の振興を図る事業

	事業名	種別	事業内容
1	牧草地除染対策事業	自主	放射性物質の除染作業を農家等に除染作業を委託して実施。
2	「群馬の豚」生産推進事業	自主	登録要件を満たす農場を募集し、ホームページに掲載するとともに、統一マークの使用を許諾。

畜産振興部より

■第３９回中部日本ブラックアンドホワイトショウが開催されました。

平成26年4月18日～19日に、静岡県御殿場市にある「御殿場市馬術スポーツセンター」において、中部日本ホルスタイン改良協議会主催の「第39回中部日本ブラックアンドホワイトショウ」が開催されました。

今年は群馬県を含む1都1府15県から計182頭が出品され、群馬県からは15頭の出品となりました。

15頭の内、個体の部で2頭が部チャンピオンとなり、その内の1頭は未経産牛グランドチャンピオンに輝きました。また、3頭が部リザーブチャンピオンとなり、その内

未経産グランドチャンピオンのリスペクト　AC　デユース　マツクス

の1頭は経産リザーブグランドチャンピオンに輝き、自家生産牛群の部でも㈲神澤牧場の牛群がグランドチャンピオンに輝きました。

県別対抗戦では惜しくも栃木県に続く2位となりましたが、残念ながら欠場だった2頭を除き、出品した牛の全てが一等賞以上に入賞する好成績を残し、今年も群馬県の酪農の質の高さを示すことができました。

（以下リザーブグランドチャンピオン以上紹介）

▼未経産グランドチャンピオン　三輪圭吾さん
　リスペクト　AC　デユース　マツクス

▼経産牛リザーブグランドチャンピオン　遠坂和仁さん
　ベアーフルト　ストーマチツク　トイストーリー

▼自家生産牛群グランドチャンピオン　㈲神澤牧場
　ゴツドフレイ　ラテイチユード　ヤナギ
　ゴツドフレイ　ダンデイ　キヤロライン
　ゴツドフレイ　ダンデイ　ラテイチユード

■全日本ホルスタイン共進会が１０年ぶりに開催決定。

第14回全日本ホルスタイン共進会が、平成27年10月23日～26日の4日間、北海道で開催されることになりました。第13回が震災等の影響で中止となったため、前回栃木で開催された第12回から10年ぶりの開催となります。

平成26年6月時点で45都道府県が参加予定であり、群馬県からも一般枠8頭、後代検定娘牛枠3頭、高校特別枠1頭の計12頭が出品予定となっており、8月に出品対策委員会を立ち上げる等、準備を進めております。

■今年度の前期牛群審査・体型調査を実施。

平成26年5月26日から同年6月16日にかけて計16間、(一社)日本ホルスタイン登録協会の池田泰男審査員による、牛群審査並びに体型調査を県内の各農家において実施しました。

牛群審査は29戸301頭、奨励審査35頭、ジャージーの個体審査1頭。体型調査は63戸385頭実施しました。得点平均は81．5点で、最高得点は都丸進さんが飼育する「キヤピタル　クイーン　ジエスロ　ルビー」で91点でした。他にも6頭が90点を獲得しました。

■家畜審査技術講習会・技術大会が開催されました。

平成26年6月3日に、学校農業クラブ連盟主催の「家畜審査技術講習会」が群馬県畜産試験場にて開催されました。

本講習会は、県内の農業課程を勉強する高校生が、生産性の向上に有効な体形などの良し悪しを判断する技術を学ぶことを目的とし、毎年、和牛・乳牛・豚の3部門を設けて開催していました。

しかし防疫の関係から豚の部は今回除外し、乳牛・和牛の2部門で開催され、和牛の部110名、乳牛の部75名の計185名の高校生が参加しました。

また、平成26年6月24日には同主催、同場所において「家畜審査技術競技大会」が開催され、講習会で学んだ知識と日頃の経験を活かし、審査技術の正確性を競いました。

成績最優秀者
　和牛の部　利根実業高等学校　海沢　昇麿さん
　乳牛の部　勢多農林高等学校　須永　要さん

業務部より

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）

1　生産者積立金単価

平成26年度の生産者積立金単価は下記のとおりとなりました。

（単位:円／頭）

品種	平成26年度		平成25年度
	生産者積立金	積立金総額	生産者積立金
肉専用種	18,000	72,000	18,000
交雑種	30,000	120,000	30,000
乳用種	20,000	80,000	25,000

2　補填金単価の算定方法の変更

平成26年4月販売分より、消費税率の変更に伴い、補填金単価算定方法が従来の税込(5%)から、税抜きに変更されました。

3　補填金交付の概算払方式の導入

平成26年度から補填金単価の算定に利用する配合飼料価格安定制度の補填金単価の確定時期が四半期後へ変更されました。新マルキン事業では特例措置として補填金の毎月払を実施していますが、毎月払を実施するためには補填金単価の確定ができないため、毎月払いを基本とする概算払方式が導入されました。

	4月	5月	6月	7月	8月
データ集計	未確定	未確定	未確定		確定（4～6月分決定）
算定（支払）			概算払（4月分）	概算払（5月分）	4～5月分精算払 6月分支払

【事業の実績(平成 26 年 6 月現在)】

対象期間	品種区分	通常		生産者積立金免除牛		交付金額(千円)	交付戸数(戸)	交付日
		交付単価(円)	頭数(頭)	交付単価(円)	頭数(頭)			
平成26年 1月	肉専用種	－	－	－	－	－	－	3/24
	交雑種	40,700	1,074	－	－	43,712	108	
	乳用種	42,600	440	－	－	18,744	11	
	計		1,514		－	62,456	119	
平成26年 2月	肉専用種	－	－	－	－	－	－	4/25
	交雑種	47,400	1,126	35,500	22	54,153	108	
	乳用種	51,900	188	38,900	123	14,542	12	
	計		1,314		145	68,695	120	
平成26年 3月	肉専用種	－	－	－	－	－	－	5/23
	交雑種	60,000	1,227	45,000	56	76,140	111	
	乳用種	61,300	185	45,900	134	17,491	14	
	計		1,412		190	93,631	125	
平成26年 4月 概算払	肉専用種	－	－	－	－	－	－	6/25
	交雑種	32,700	1,335	24,500	151	47,354	129	
	乳用種	40,300	126	30,200	79	7,464	16	
	計		1,461		230	54,818	145	
合計	肉専用種		0		0	0	0	
	交雑種		4,762		229	221,359	456	
	乳用種		939		336	58,241	53	
	計		5,701		565	279,600	509	

■肉用子牛生産者補給金制度

【事業の実績(平成 26 年 6 月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価(円)	頭数(頭)	交付金額(千円)	交付戸数(戸)	交付日
平成26年1～3月	－	－	－	－	－	交付なし

■肉用牛繁殖経営支援事業

【事業の実績(平成 26 年 6 月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価(円)	頭数(頭)	交付金額(千円)	交付戸数(戸)	交付日
平成26年1～3月	－	－	－	－	－	交付なし

■肉用牛肥育経営緊急支援事業支援金に係る返還状況【平成 26 年 6 月末現在】

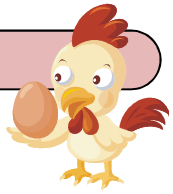
区分	交　付	返　還	未 返 還
対象者数（人）	191	170	21
支援金額（千円）	1,946,500	1,752,050	194,450

■養豚経営安定対策事業

【事業の実績(平成 26 年 6 月現在)】

対象期間	平均粗収益（円）	平均生産コスト（円）	差額（円）	補填金単価（円）	交付戸数（戸）	交付日
平成26年4～6月	42,422	35,491	6,931	－	－	交付なし

企画管理部より



■平成２６年度家畜衛生事業担当者会議を開催しました。

平成26年6月30日（月）に家畜衛生事業担当者会議を開催しました。会議では、次の各事業について事業説明、質疑がおこなわれました。今年度も、本会の衛生事業についてご理解ご協力をお願いします。

（1）予防注射事業　（2）オーエスキー病清浄化推進
（3）牛白血病の感染拡大防止対策
（4）死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業
（5）家畜防疫互助基金造成等支援事業
（6）地域自衛防疫強化特別対策事業

各部に直接かかる便利なダイヤルイン電話をご利用ください！

【部門ダイヤルイン電話番号】
◎企画管理部：027-220-2371（代）
◎畜産振興部：027-220-2360（直）
◎業　務　部：027-220-2365（直）

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

みんなで行こう！ケイバ！南関東４競馬場開催日程

群馬で、これまでの高崎場外馬券場から新たに地方競馬の場外馬券場が増えました！！！

詳しくは南関東４競馬場サイト：http://www.nankankeiba.com/index.html をご覧ください

競走名	格	場名	実施日	距離	1着賞金	出走資格	成績	優勝馬
黒潮盃	SII	大井	8月13日	1,800m	1,800万円	3歳		歴代優勝馬
スパーキングサマーカップ	SIII	川崎	8月20日	1,600m	1,200万円	3歳以上		歴代優勝馬
アフター5スター賞	SIII	大井	8月27日	1,200m	1,300万円	3歳以上		歴代優勝馬

◆ＢＡＯＯ高崎
群馬県高崎市岩押町 12－16
お問合せ：027-322-5192

競走名	格	場名	実施日	距離	1着賞金	出走資格	成績	優勝馬
戸塚記念	SII	川崎	9月9日	2,100m	2,000万円	3歳		歴代優勝馬
テレ玉杯オーバルスプリント	JpnIII	浦和	9月11日	1,400m	2,100万円	3歳以上		歴代優勝馬
東京記念	SII	大井	9月15日	2,400m	2,200万円	3歳以上		歴代優勝馬
日本テレビ盃	JpnII	船橋	9月23日	1,800m	3,200万円	3歳以上		歴代優勝馬

※9/15 大井競馬は昼間開催です

◆オフト伊勢崎
群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド４階・５階
お問合せ：0270-23-0535

編集後記

今回も「群馬の畜産　みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。梅雨明けしたとたんに暑い日が続いています。今回から、編集担当者が異動いたしました。交代となっても変わらずご愛読願いますようお願いします。今号では新年度となっての発行であるため、前半で事業計画を掲載しました。少々、堅い紙面になりましたが、ぜひお目通しいただき、畜産協会のどのようなことがご承知いただきたいと思います。（K）